

SIMI

社会的インパクト・マネジメント・イニシアチブ

Social Impact Management Initiative

金融実践者がインパクト志向の資金の流れを生み出す インパクト・アナリスト研修

— IMPACT ANALYST TRAINING COURSE —

IN COLLABORATION WITH



SUPPORTED BY



- 本セッションでは記録のため、録画をいたします。質疑応答を除くプログラムご紹介のみ一般公開をいたします。
- 参加者の皆様におかれましては、下記の事項をお守りいただけるようお願いいたします。
- ✓ 録画、録音、スクリーンショット等のご遠慮ください。
- ✓ ご質問はチャット欄、または後半の質疑応答の時間にてミュートオフにしてご質問ください。

①インパクト・アナリスト研修のご紹介

②2022年修了者によるコメント

- 飯川 貴文氏（三井住友信託銀行株式会社 ESGソリューション企画推進部 インパクトビジネス開発室 調査役）
- 反橋 知世氏（住友生命保険相互会社 運用企画部 責任投資推進チーム）

③募集要項及び申込方法のご案内

④質疑応答

金融実践者がインパクト志向の 資金の流れを生み出す

インパクト・アナリスト研修のご紹介 (2023年)

一般財団法人
社会的インパクト・マネジメント・イニシアチブ (SIMI)

本研修プログラムは、国際交流基金との協働事業として実施します。

インパクト・アナリスト研修の概要

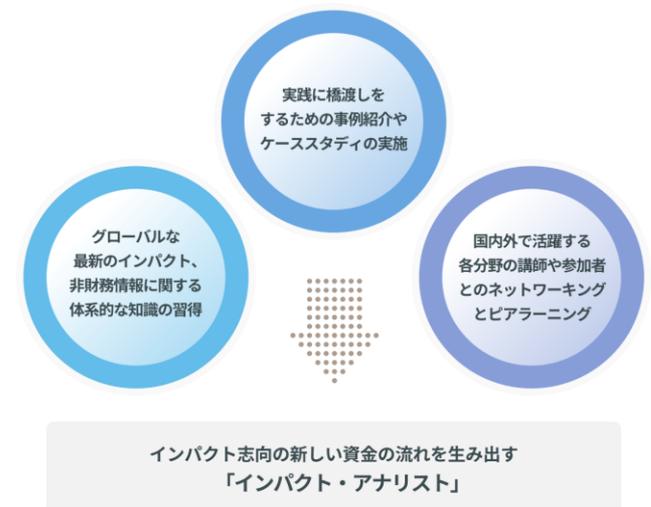
金融実践者がインパクト志向の資金の流れを生み出す インパクト・アナリスト研修

「インパクト・アナリスト研修」は、社会課題解決や価値創造に向けた意思のある資金提供者において、社会的・環境的インパクトを最適化しながら資金提供を実践できる「インパクト・アナリスト」を育成するための実践型の研修です。

大手銀行、地方銀行、信用金庫などで商品開発や融資に携わる方、上場株式や債券、未上場株式などに投資する機関、国内の課題解決に助成する財団など、国内・グローバルな社会的・環境的な課題解決の意思を持つあらゆる資金提供者が対象です。

インパクト・アナリスト研修が目指す姿

本研修では、金融・投資機関、各種財団・基金などの資金提供団体の中で「インパクト・アナリスト」としてスキルとネットワークがある人が育つこと、そしてインパクト創出を意図した商品や事業・プログラム開発が進むことを目指しています。



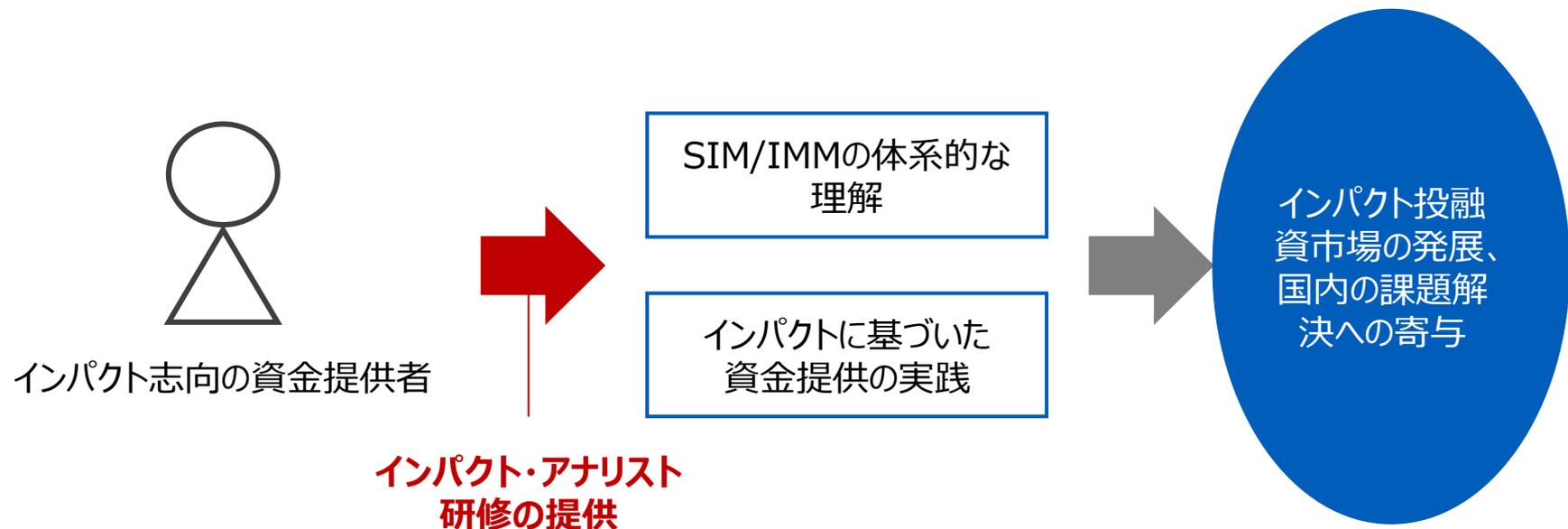
インパクト・アナリスト研修の目的

インパクト・アナリスト研修の目的

社会課題解決や価値創造に向けた意思のある資金提供者に対してSIM*1/IMM*2を活用するための人材育成、および実践支援のプログラムを行うことにより、国内のインパクト投融資等の実案件の形成に寄与する。またそれらの知見を広く社会に発信することで、市場の発展に貢献することを狙いとする。

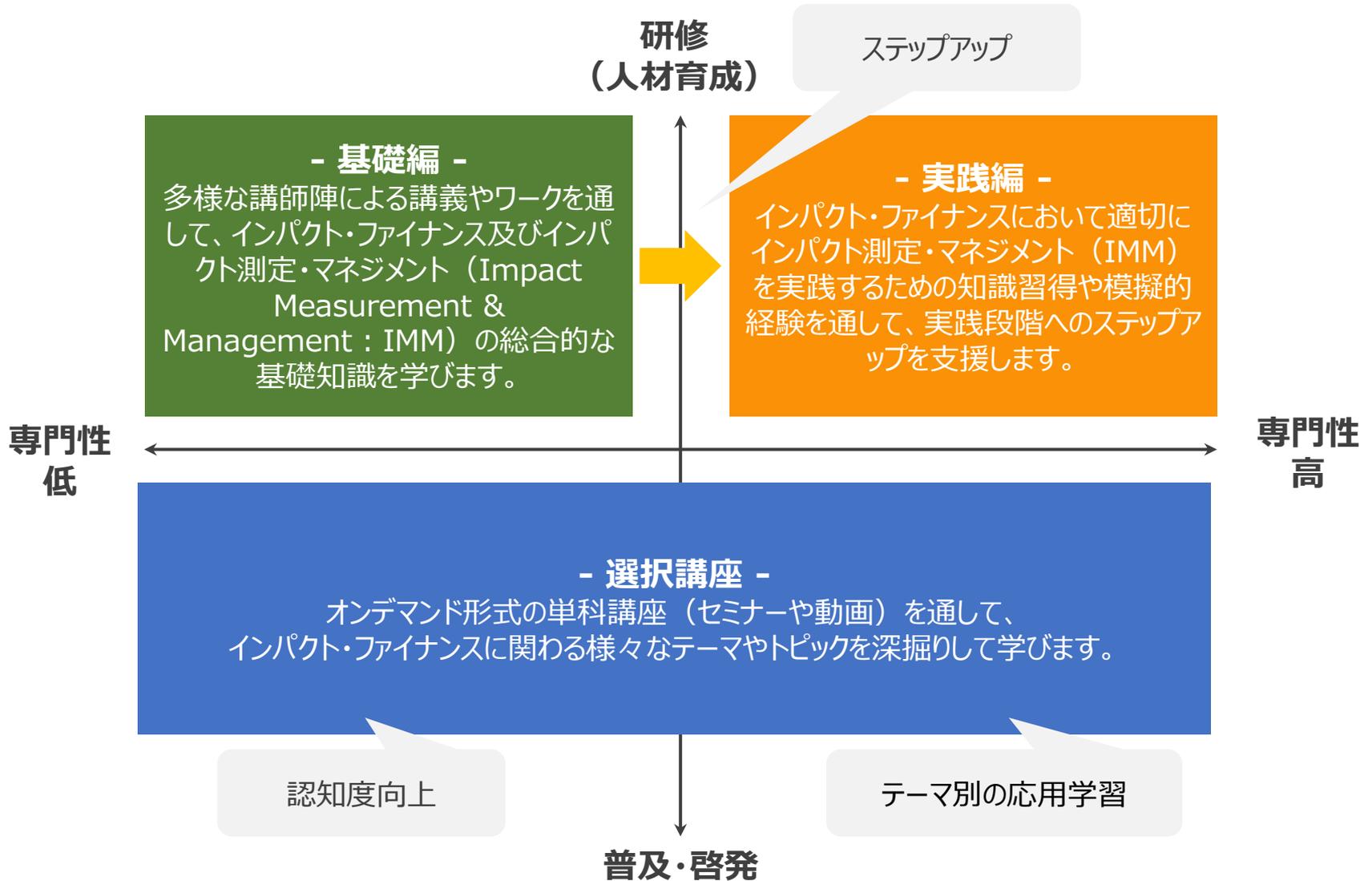
*1 SIM : Social Impact Management (社会的インパクト・マネジメント)

*2 IMM : Impact Measurement & Management (インパクト測定・マネジメント)

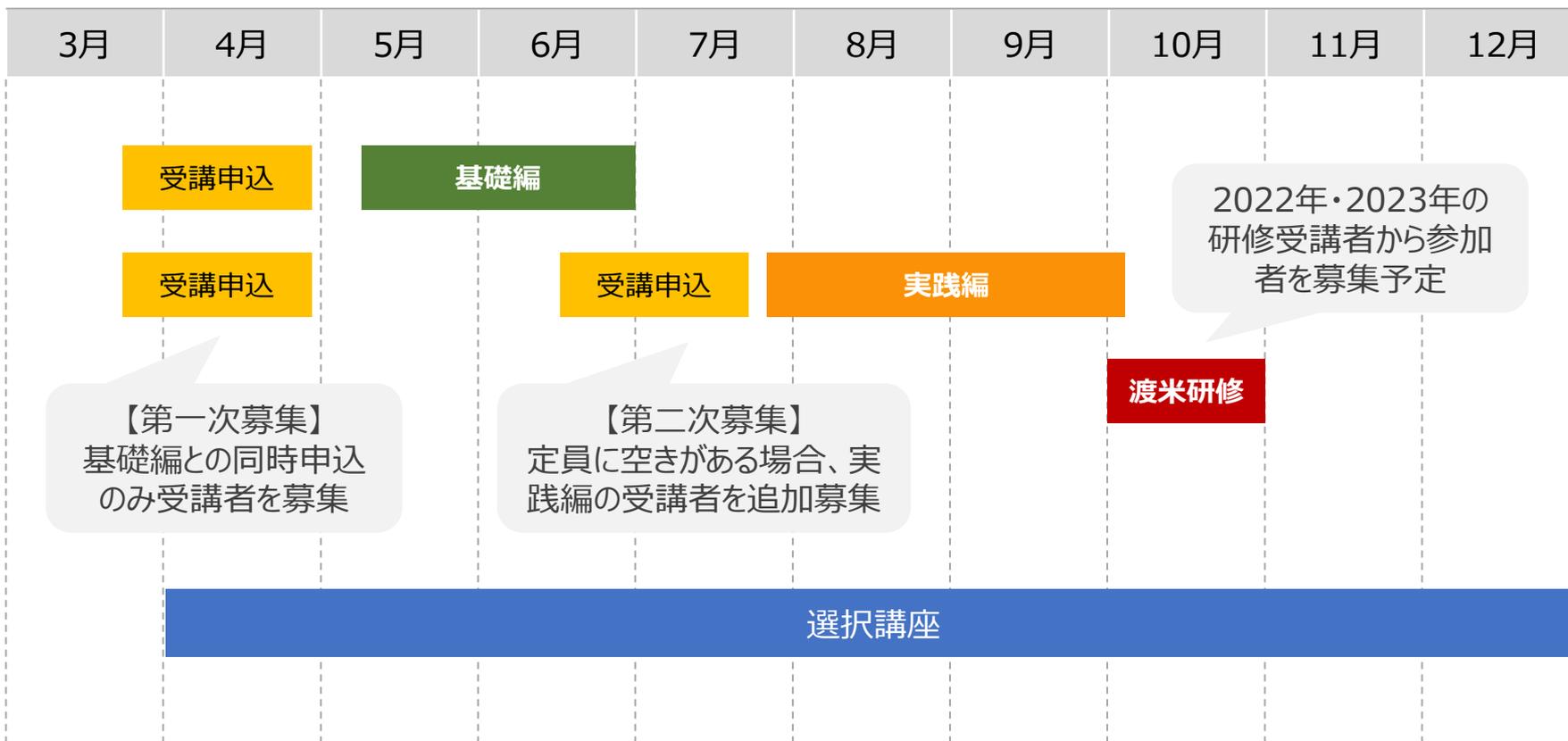


インパクト・アナリスト研修の構成

本プログラムは、以下の3つのモジュールから構成されます。



受講対象	SDGインパクト基準を活用した、インパクト志向経営を担う人材育成を行いたい企業・組織（目的、ご意向に応じて以下3コースからご選択いただけます）		
コース3種類	3Dayコース -本格的な全社規模の変革や認証を目指す-	1Dayコース（法人向け） -3dayコースのエッセンスを習得し 認証に向けた基本事項を理解する-	1Dayコース（個人向け） -全体像把握、研修導入の検討-
研修時間	18時間（6時間×3日間等）	6時間	6時間
費用（税別） 人数	応相談 （※人数、付随コンサルに応じ個別見積り）	80万円（人数：10名まで一律金額） （※11名以上：プラス5万円/人）	10万円/人 最少催行人数：10名
主な対象者	経営、戦略企画ご担当者をメインに、サステナビリティ、財務、人事の各ご担当者など		
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・自社課題の検討・認証の取得 ・SDGインパクトの実装 	<ul style="list-style-type: none"> ・全体像の把握・本格導入の検討 ・自社課題の考察 	<ul style="list-style-type: none"> ・全体像の把握 ・本格導入の検討
特徴	<実装に向けた個社毎のコンサルティング例> <ul style="list-style-type: none"> ・SDGインパクトの導入プランの検討 ・セルフチェックシート活用の伴走 ・12アクションに準じた必要要件、リソース検討 	コース本編（80万円）に、受講前後のコンサルティング・パッケージ（各50万円）を付加することで、より効果的な研修活用が可能となります。	個人単位で、SDGインパクトの全体像を把握した上で、自社への研修導入のご検討が可能になります。



基礎編の位置づけ

基礎編の目的

基礎編は、インパクト・ファイナンス（投融資を含めインパクトの創出に向けて運営される資金提供方法）を活用する意図のある資金提供者が、インパクト・ファイナンスの総合的な基礎知識を学ぶことで、これが正しく理解・実践されることを促すことを目的とします。

基礎編の目標

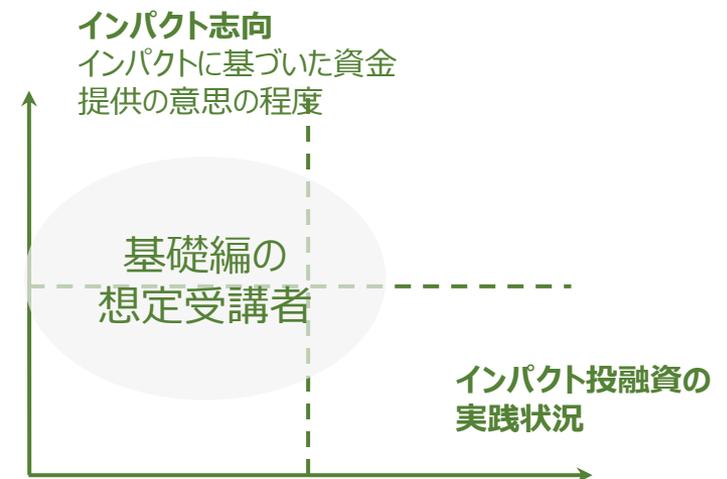
この研修を受講することで、参加者は以下の項目を達成することを目指します。

1. インパクト・ファイナンスの歴史、重要性、目指すべき経済社会の在り様を共に学び、参加者自身を取り巻く環境変化を知り、自身の役割を見直すこと。
2. インパクト・ファイナンスを実践する上で必要な要素を知ること。
3. 身近で実践できる取り組みや事例を学び、得た知識と概念を自身のスキルとして統合すること。

対象

社会課題解決や価値創造に向けた
意思のある資金提供者

- 金融・投資機関
- 助成財団、コミュニティ財団関係者など



動画講義

- ライブ講義ではより講師とのディスカッションおよびグループディスカッションに時間を使えるように、各ライブ講義の参加前までに動画講義（各60分程度を想定）を提供します。
- ライブ講義のディスカッションをより充実させるために、動画講義後、受講者には意見や感想、アイデア等を整理し、ライブ講義におけるディスカッションの準備ができる事前課題を出します。

	テーマ	内容	講師（調整中）
1	社会的インパクトの潮流と現在地	1.インパクトへの潮流をつくる周辺の動き	今田 克司（SIMI 代表理事）
2-1	インパクト創出における資金提供者の役割	1.金融機関の役割の変遷 2.インパクト・ファイナンスにおける資金提供者のあり方 3.変容を後押しするものとしてのインパクト投資 4.インパクト・ウォッシュのリスク	安間匡明氏（一般財団法人社会変革推進財団）
2-2	インパクト・ファイナンスを理解する	1.インパクト・ファイナンスが志向する経済社会 2.インパクト・ファイナンス実践の関連鍵概念とその進化（受託者責任、マテリアリティ、サステナビリティ開示）	水口剛氏（公立大学法人高崎経済大学）
3	インパクト測定・マネジメント（IMM）のステップ	1.投資戦略 2.組成とストラクチャリング 3.モニタリング及びエンゲージメント 4.売却判断・レポート	菅野文美氏（一般財団法人社会変革推進財団）

ライブ講義

- 全4回のライブ講義を実施します。
- 各回後に任意参加でネットワーキンググループを実施予定です。

	日時（予定）	テーマ	内容	講師
1	5月17日（水） 9：30～12：00	インパクトに向けた大きな潮流	インパクトにむけた大きな潮流を理解し、本講義で取り扱う内容を理解する。	今田 克司（SIMI代表理事）
2	5月31日（水） 9：30～12：00	インパクト創出における資金提供者の役割	インパクト創出における資金提供者の役割や課題、金融機関に求められる変容、インパクト投資の位置付けについて知る。	安間匡明氏（一般財団法人社会変革推進財団）
		インパクト・ファイナンスを理解する	インパクト・ファイナンスが志向する経済社会の流れを概観し、関連する金融業界の鍵概念を理解する。	水口剛氏（公立大学法人高崎経済大学）
3	6月6日（火） 9：30～12：00	インパクト測定・マネジメント（IMM）のステップ	インパクト投資におけるIMMの具体的なステップを学ぶ。	菅野文美氏（一般財団法人社会変革推進財団）
		インパクト測定・マネジメント（IMM）の具体事例	インパクト・ファイナンス実践者による事例紹介を通して、インパクト測定・マネジメント（IMM）の実践を紐解く。	調整中です。
4	6月21日（水） 9：30～12：00	インパクト・エコノミーの時代	なぜ今インパクト・ファイナンスが求められるのか。最新の実践例を知り、日本での推進者によるディスカッションから学ぶ。	金井司氏（三井住友信託銀行） 松原稔氏（りそなアセットマネジメント）

実践編のご案内

実践編の目的

既にインパクト・ファイナンスにおける基礎的な知識を習得し、インパクト・ファイナンス及びIMMをすでに実践している、あるいは直近でかつ具体的に実践のご予定がある資金提供者が、基礎レベルから実践レベルへのステップアップすることを目的とします。

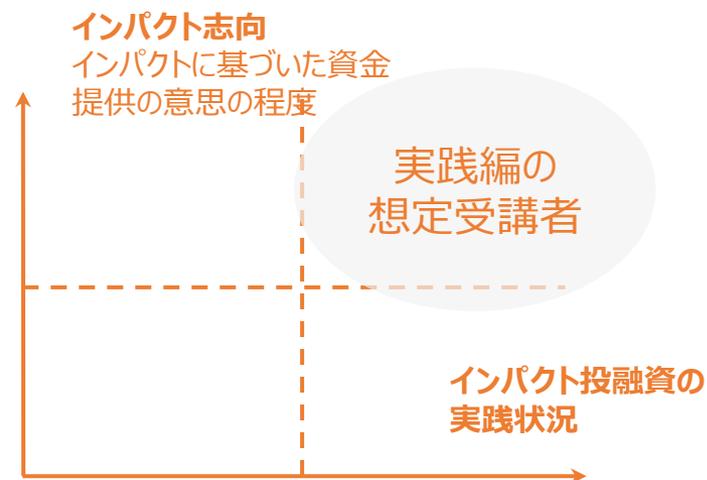
実践編の目標

この研修を受講することで、参加者は以下の項目を達成することを目指します。

1. インパクト・ファイナンスを実践する上で重要な要素を知ること。
2. インパクト・ファイナンスの実践ノウハウや事例に触れ、IMM活用のためスキルを得ること。
3. 所属の組織でIMMを業務に活用するための知識上、経験上の土台形成をおこなうこと。
4. インパクト・ファイナンスの実践を、自立的・継続的に発展させていけるようなネットワークやコミュニティの構築を行うこと。

対象

社会課題解決や価値創造を志向する金融・投資機関などの資金提供者に所属し、インパクト・ファイナンスの基礎的な知識を習得した上で、インパクト・ファイナンス及びIMMをすでに実践している方。あるいは、直近でかつ具体的に実践のご予定がある方。



Impact Frontiersについて

実践編はImpact Frontiersとのコンテンツ提携により実施します。

Impact Frontiersは、インパクト投資を志す投資家がともに学び、インパクト投資市場を協働で形成していくことを目指し、北米・欧州・アジアなどにおいて、インパクト投資及びIMMの実践支援や研修事業、投資家ネットワークの形成等を行うイニシアチブです。

もともとは財務とインパクトを統合した「インパクト・フロンティア」を模索する12のインパクト投資家の協働事業としてスタート。後に2,000以上のインパクト投資機関や標準化団体が賛同するインパクト投資推進のためのグローバルネットワークであるImpact Management Project (IMP) と統合し、インパクト投資及びIMMに関する知見を提供してきました。2021年のIMPの発展的解消（一部は Impact Management Platform としてリニューアル）にともない、現在はImpact Frontiersとして、IMPによって開発されたリソースや知見をインパクト投資家へグローバルで幅広く提供しています。

<https://impactfrontiers.org/>



IMPACT FRONTIERS

実践編のスケジュール

Impact Frontiersとのコンテンツ提携により、実務レベルでの活用を見据えた研修プログラムを、日本語および英語で提供します。また、2022年に実践編を受講したアルムナイを中心に、メンター制度を設け、受講者自身がおかれている状況におけるアクションプラン（最終プレゼンテーション）を構築をサポートします。

	日時	概要
1	2023年7月20日（木） 9:30～12:30	イントロダクション Impact Frontiersによるセッション①
2	2023年8月3日（木） 9:30～12:30	アクションプランのテーマ設定ワークショップ メンターセッション①
3	2023年8月10日（木） 9:30～12:30	セッション（調整中） Impact Frontiersによるセッション②
4	2023年8月31日（木） 9:30～12:30	セッション（調整中） Impact Frontiersによるセッション③
5	2023年9月14日（木） 9:30～12:30	事例セッション メンターセッション②
6	2023年9月28日（木） 9:30～12:30	最終プレゼンテーションの発表 チェックアウト

選択講座の目的

インパクト・ファイナンスに関わる様々なテーマやトピックを深掘りして学べるオンデマンド形式の単科講座（セミナーや動画）を提供します。

2023年実施予定（案）

	日時	概要
1	2023年4月	あらためて「インパクトのABC分類」について
2	2023年5月	米英における地域再生と金融の動き
3	2023年5月	Transformative Investment とは
4	2023年6月	米国助成財団のインパクト志向と成果を求める動き
5	2023年7月	「インパクトレポート」のあり方
6	2023年8月	企業財団におけるインパクト志向と成果を求める動き
7	2023年9月	米国におけるEquitable Economic Growthの動き
8	2023年10月	「指標設定」講座（IRIS+含む）

主催：

SIMI

社会的インパクト・マネジメント・イニシアチブ
Social Impact Management Initiative

一般財団法人社会的インパクト・マネジメント・イニシアチブ

一般財団法人社会的インパクト・マネジメント・イニシアチブ（Social Impact Management Initiative:SIMI）は、日本において事業者、資金提供者・仲介者、行政、中間支援組織・シンクタンク、評価者・研究者など多様なメンバーが連携して、日本全体として「社会的インパクト・マネジメント」を普及させるためのマルチセクター・イニシアチブです。

『社会的インパクト・マネジメントが実装され、社会課題解決や社会価値創造が行われている社会』をビジョンに掲げ、社会的インパクト・マネジメント・ガイドラインの作成や、Social Impact Dayや各種セミナー・研修、グローバルなネットワークへの参画などを行っています。2022年1月現在、200を超える個人・組織が参加しています。

<https://simi.or.jp/>

協働パートナー：



独立行政法人国際交流基金

本研修事業は国際交流基金との協働事業として実施しています。

<https://www.jpf.go.jp/j/>

主催団体紹介

VISION

社会的インパクト・マネジメントが実装され、
社会課題解決や社会価値創造が行われている社会

MISSION

あらゆる組織の社会的インパクト・マネジメントを促進するとともに、
組織や業界、活動分野を越えた参画・協働を加速する共創基盤を提供します。

一般財団法人社会的インパクト・マネジメント・イニシアチブ

(Social Impact Management Initiative: SIMI)は

日本において事業者、資金提供者・仲介者、行政、中間支援組織・シンクタンク、評価者・研究者など
多様なメンバーが連携して、日本全体として「社会的インパクト・マネジメント」を普及させるための
マルチセクター・イニシアチブです。

団体概要

名称	一般財団法人社会的インパクト・マネジメント・イニシアチブ (英文表記: Social Impact Management Initiative)	
登記住所	東京都渋谷区	
代表者	代表理事 今田克司	
評議員	青柳 光昌	一般財団法人社会変革推進財団専務理事
	有馬 充美	西武鉄道株式会社社外取締役、株式会社プリンスホテル社外取締役
	太田 達男	公益財団法人公益法人協会会長
	澁澤 健	コモンズ投信株式会社取締役会長、シブサワ・アンド・カンパニー株式会社代表取締役
	水口 剛	公立大学法人高崎経済大学学長
	源 由理子	明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科専任教授
監事	鬼澤 秀昌	おにざわ法律事務所代表
理事	今田 克司	株式会社ブルー・マーブル・ジャパン代表取締役(代表理事)
	伊藤 健	特定非営利活動法人ソーシャルバリュージャパン代表理事(業務執行理事)
	鴨崎 貴泰	特定非営利活動法人日本ファンドレイジング協会常務理事(専務理事)
	幸地 正樹	ケイスリー株式会社代表取締役
	高木 麻美	Stem for Leaves代表
Webサイト	https://simi.or.jp/	